



水防災意識再構築ビジョンの取り組みとして、7月16日(日)、17日(月)に開かれた住民団体との協働イベント「第10回 水辺の匠」において、イベントに訪れていた家族連れの方などに啓発活動を行いました。

ハード対策(堤防裏法尻の補強、樹木伐採など)、ソフト対策(サイクリングによる避難経路・野洲川周辺の現地調査など)の主な取り組みの説明のほか、野洲川洪水浸水想定区域の破堤点ごとの時系列シミュレーションを用いた氾濫形態のようすなどについて説明しました。

### 概要

「第10回水辺の匠」(主催:ウォーターステーション琵琶の会、琵琶湖河川事務所)

- 日時:平成29年7月16日(日)、17日(月)
- 啓発場所:アクア琵琶
- イベント来場者総数:約3,000名



水ビジョンに基づく野洲川の実行方針の概要説明



堤防強化工法の説明



氾濫シミュレーションを用いた野洲川洪水浸水想定説明



野洲川洪水浸水想定区域の説明

### 説明を聞いた感想

- ・九州北部の豪雨災害があり水害の怖さを身近に感じている
- ・堤防強化工事により逃げる時間を少しでも確保できるんですね
- ・浸水する範囲や避難ルートを知って早く逃げることを意識しておく大切さがわかった
- ・野洲川からの浸水は草津市まで広がってくるんですね

大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、「自ら行動し、地域の防災力を高め」、「社会経済被害を最小化」するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指します。

今年でアクア琵琶は  
開館25周年!!



【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課  
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)

